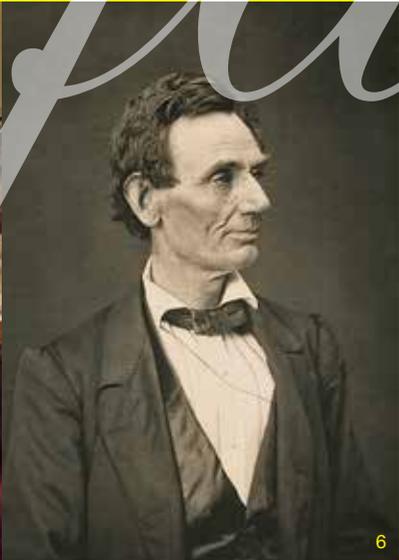
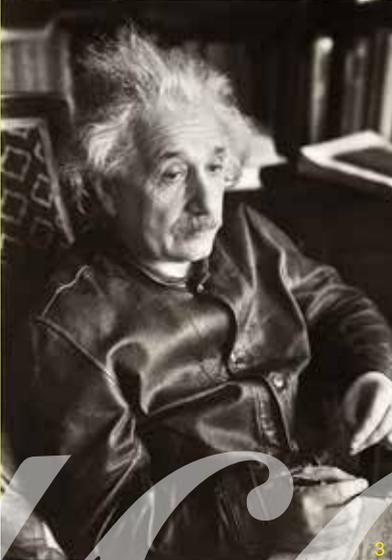


顔

人物表現の魅力

かお・カオ

A Pageantry of Faces:
The Magical Allure of Human Expressions



主な出品作家:

アーヴィング・ベン
 アメデオ・モディリアーニ
 アンディ・ウォーホル
 アントニー・ヴァン・ダイク
 アンドレ・ケルテス
 アンリ・カルティエ=ブレッソン
 ウィリアム・アドルフ・ブーグロー
 ウィリアム・ユージン・スミス
 ウジェヌ・ドラクロワ
 エリザベート=ルイズ・ヴィジェールブラン
 オーギュスト=ロダン
 ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングル
 ジャン=オノレ・フラコナール
 ジャン=バティスト・ガミーユ・コロー

ジャン=バティスト=シメオン・シャルダン
 ジャン=マルク・ナティエ
 ジョシュア・レノルズ
 ジョルジュ・ド・ラ・トゥール
 セバスチャン・サルガド
 ナダール
 ピエール=オーギュスト・ルノワール
 ブラッサイ
 フランス・ハルス
 ベルト・モリゾ
 ユーザフ・カーシュ
 リチャード・アヴェドン
 ルイス・キャロル
 ロッテ・ジャコビ
 ロバート・キャバ

2016. 1/5 火
3/21 月 祝

午前10時～午後5時(午後4時30分受付終了)
休館日: 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日は休館)

大人	大高生	中小生	未就学児
800 (700)円	500 (400)円	200 (100)円	無料

※()内は各種割引料金 [20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか] ※土曜日は中小生無料 ※障がい児者、付添者1名は半額 [証明書をご提示ください] ※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料 [証明書をご提示ください。休館日の際は適用できません]

主催: 東京富士美術館

※写真・版画等は作品保護のため、2月15日(月)に展示替えを行います。

1.《ヘラクレスとオンファレ》テオドール・ファン・テュルデン 2.《戦後のパリを舞台にした悲劇のドラマ『凱旋門』を撮影中のイングリッド・バーグマン》ロバート・キャバ 3.《アルバート・アインシュタイン》ロッテ・ジャコビ 4.《赤い服の女》ピエール=オーギュスト=ルノワール 5.《ジョフラン夫人》ジャン=マルク・ナティエ 6.《エイブラハム・リンカーン》アレクサンダー・ヘスラー、ジョージ・ビュッヒャー・エアーズ 7.《ペートーヴェン》アルペール=エルネスト=カリエ=ベルルス 8.《貴婦人の肖像》フランソワ=アンリ・ミュッラル 作品はすべて東京富士美術館所蔵 ※2と6.は2/14(日)まで展示。3.は2/16(火)から展示します

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL:042-691-4511

顔・かお・カオ

—人物表現の魅力—

西 洋絵画の歴史において、宗教の枠を超えた肖像画はルネサンス期に発展します。王侯貴族やパトロンたちを描いた肖像画の登場です。古代ギリシア・ローマを範としたルネサンスは、人間・個人の存在そのものへの関心を呼び起こしたのです。



ルネサンス期に発展した肖像画は、17世紀に大きな展開を見せます。海



洋貿易で繁栄したオランダには裕福な市民層が増え、それにとまって肖像画の需要も増大しました。フランス、イギリス、スペインなどヨーロッパ諸国の王侯貴族たちも、屋敷や宮廷に飾るために、ときには複数の肖像画を描かせました。

19世紀半ば、写真の技術が誕生します。手軽に被写体を紙に写しとれる写真は瞬く間に社会に広がりました。最初は絵画のような写真が好まれていましたが、やがて瞬間を切り取ることのできる写真独自の表現を生かした肖像写真が登場します。被写体となった人物が一瞬見せる表情やしぐさに、その人の性格や想い、ときには人生までも雄弁に物語るような優れたポートレートが生み出されるようになりました。



本展では、描かれた顔（絵画）、写された顔（写真）、彫られた顔（彫刻）など、さまざまな手法で表現されたポートレートに焦点をあてて、そこに表現される人間の魅力を再発見したいと思います。

W ith the advent of the Renaissance, oil portraits in the West began the transition in earnest from its preoccupation primarily with the ecclesiastic to the secular. Portraits of royalty, the nobility and wealthy patrons make their first appearance, marking an epochal moment in Western painting—the rediscovery of humanity’s essential aesthetic appeal once appreciated by the Ancient Greeks and Rome.



Having set upon this path, portrait painting took the next leap in its development in the 17th century. With the rise of affluent Dutch citizens, a demographic that rose to prominence as the Netherlands dominated global maritime commerce in the second half of that century, demand for portraits proliferated. That in turn fanned others in Europe, particularly among the aristocracy in France, England and Spain, who chose to adorn their courts and estates. Some, in fact, commissioned multiple portraits for themselves.

By the second half of the 19th century, a new medium emerged to compete with oil painted portraits: photography. And its popularity spread as readily as a camera reproduces an object on film. Initially, people preferred their photographed portraits to appear as if they were paintings. But that would change as subjects realized that the medium had the unique ability to capture a single moment out of their lives, one not only revealing one’s mood but personality, even one’s very life, in that instant.

Tokyo Fuji Art Museum’s “A Pageantry of Faces” is a tribute to portraits of every kind, be they painted, photographed or sculpted, and a tribute to the diversity of the human visage.



イベント情報

※いずれも予約不要。参加料無料。ただし入場料金が必要

学芸員によるギャラリートーク

毎週土曜日 午後2時～
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

美術館でFUKUWARAI!!

日時：1月9日（土）13時～15時
内容：福笑いで遊ぼう！MY福笑いをつくってみよう！
※当日は中小生無料

おとなが楽しむ朗読会

日時：2月11日（木・祝）11時～12時
出演：青羽美代子（声優）
会場：本館・ミュージアムシアター
内容：「不断草」山本周五郎 作
定員：200名（先着順）

メールマガジンを配信致します。ご登録ください！



割引券

会期中1枚につき
10名様まで有効

※このチラシをご提示ください。



●バス

◇JR八王子駅北口・西東京バス12番のりば（12:27発までは14番のりば）創価大正門東京富士美術館行き／創価大学循環
◇京王八王子駅・西東京バス4番のりば 創価大正門東京富士美術館行き／創価大学循環

●お車 中央高速八王子インターチェンジ第2出口より八王子市街方面へ進み、国道16号に合流、三つ目の信号（谷野街道入口）を右折、直進し二つ目の信号（谷野町）を右折。

ホームページ <http://www.fujibi.or.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/fujibi>
Twitter @tokyofujibi

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

1. (ピアンカ・カッペロの肖像) アレックスドロ・アローリの工房 2. 《男の肖像》 フランス・ハルス 3. (ユースポフ侯爵夫人) エリザベート・ルイーズ・ヴィージェルブラン 4. (ポール・アレクサンデル博士) アメデオ・モディリアーニ 5. (モーツァルト) アルペール＝エルネスト・カリエ・ペルーズ 6. (サン・ペルナル峠を超えるボナパルト) ジャック＝レイ・ダヴィッドの工房 作品はすべて東京富士美術館所蔵